

もりやま 市議会だより

ともに考えよう 守山の未来

2024
11/1

No.175

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ リハーサル大会



11月2日(土)～3日(日・祝)は、市民球場で軟式野球リハーサル大会が開催されます

Contents

- | | | | |
|-------------------|------|--------------------------|-------|
| ● 議長・副議長の就任 | 2 | ● 視察報告 | 8 |
| ● 委員会・会派の構成 | 2 | ● 市政を問う 個人質問 | 11～18 |
| ● 9月定例会議の概要 | 3 | ● 議会活動報告・次回会議等開催予定 | 18 |
| ● 常任委員会報告 | 4～5 | ● 審議結果一覧 | 19 |
| ● 特別委員会報告 | 6～10 | | |

渡邊 邦男 議長



市議：3期目
会派：守政会(しゅせいかい)
副議長、環境生活都市経済常任
委員会委員長、議会改革・広報
広聴特別委員会副委員長などを
歴任。
水保町

川本 航平 副議長



市議：2期目
会派：無所属
総務常任委員会副委員長、議会
改革・広報広聴特別委員会副委
員長、市議会だより編集委員会
委員長などを歴任。
浮気町

議長就任挨拶

守山市議会議長 渡邊 邦男

令和6年9月定例会会議におきまして、議員各位のご推挙により第52代議長に就任いたしました。身に余る光栄であると同時に、議決機関である議会の長の責任は極めて重大であり、その職責の重さに身の引き締まる思いです。さて、守山市を取り巻く環境は、国の地方分権、地方創生により大きく変化しています。厳しい財政状況の中で、少子高齢化社会に対応した医療・福祉・教育の充実、地域経済の活性化、農水産業の振興、災害に対する備えなど、重要な政策課題が山積しています。私たち議会は、市民の皆さまの期待と信頼にお応えできるよう、二元代表制の一翼を担い、行政への監視機能を果たしつつ、市政の充実と発展、市民福祉の向上に向けて誠心誠意努めてまいります。今後とも、市民の皆さまの温かいご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

委員会・会派の構成(10月1日～)

常任委員会等

総務常任委員会

○総合政策部、総務部、会計管理者、議会、選挙管理・監査・公平委員会所管等に関する事

(委員長) 今江恒夫
(副委員長) 新野富美夫
(委員) 福井寿美子、西村弘樹、藤原浩美、田中 均、松永恵美子、川本佳子、二上勝友、榎本花菜恵

文教福祉常任委員会

○健康福祉部、こども家庭部、福祉事務所、市民病院、教育委員会所管に関する事

(委員長) 田中尚仁
(副委員長) 小牧一美
(委員) 藤木 猛、森 貴尉、渡邊邦男、川本佳子、二上勝友、北野裕也、上田佐和、榎本花菜恵

環境生活都市経済常任委員会

○環境生活部、建設部、都市経済部、上下水道事業所、農業委員会所管に関する事

(委員長) 筈井昌彦
(副委員長) 福井寿美子
(委員) 高田正司、小牧一美、西村弘樹、川本航平、田中 均、松永恵美子、北野裕也、上田佐和

議会運営委員会

○議会運営に関する事

(委員長) 高田正司
(副委員長) 田中尚仁
(委員) 小牧一美、田中 均、二上勝友、北野裕也

特別委員会

子育て支援対策特別委員会

○待機児童対策、放課後児童クラブ、発達支援に係る施策に関する事

(委員長) 藤原浩美
(副委員長) 田中尚仁
(委員) 福井寿美子、今江恒夫、田中 均、松永恵美子

まちづくり対策特別委員会

○守山駅東口のあり方検討、守山駅西口の渋滞対策等に関する事

(委員長) 新野富美夫
(副委員長) 高田正司
(委員) 筈井昌彦、渡邊邦男、川本佳子、上田佐和

議会改革・広報広聴特別委員会

○市民に開かれた議会の推進、市議会だよりの充実等に関する事

(委員長) 藤木 猛
(副委員長) 西村弘樹
(委員) 森 貴尉、小牧一美、川本航平、二上勝友、北野裕也、榎本花菜恵

組會議会

湖南広域行政組會議会

(組會議員) 藤木 猛、高田正司、新野富美夫、田中尚仁

守山野洲行政事務組會議会

(組會議員) 小牧一美、北野裕也、榎本花菜恵

その他の委員会

市議会だより編集委員会

○市議会だよりの編集に関する事

(委員長) 今江恒夫
(副委員長) 藤原浩美
(委員) 新野富美夫、松永恵美子、二上勝友、北野裕也

会派の状況

守政会(8人)

会長 新野 富美夫
副会長 筈井 昌彦
幹事長 森 貴尉
政調会長 西村 弘樹
会計 松永 恵美子
顧問 高田 正司
会 員 渡邊 邦男
会 員 田中 尚仁

日本共産党議員団(3人)

会長 小牧 一美
幹事長 藤原 浩美
会計 川本 佳子

ネットワーク未来(2人)

会長・会計 福井 寿美子
副会長 榎本 花菜恵

日本維新の会(1人)

会長 二上 勝友

公明党(1人)

会長 田中 均

参政党(1人)

会長 北野 裕也

無所属 藤木 猛

無所属 川本 航平

無所属 上田 佐和

無所属 今江 恒夫



定例会議報告

9月
定例会議

認定案件 9 件、予算案件 4 件、条例案件 5 件、
人事案件 1 件、諮問案件 3 件、その他案件 1 件の
計23件を可決しました。
主な議案の概要は、次のとおりです。

可決

一般会計補正予算(第2号) 歳入歳出補正額 5億1,300万円

主な補正概要

●民設放課後児童クラブ施設整備補助 555万円

河西小学校区に放課後児童クラブ(定員80人)を設置するため、事業者に施設整備費等の補助

●法人立保育園整備補助 5,103万円

民設民営による新たな保育園(定員90人)を設置するため、事業者に施設整備費等の補助

●都市基盤の整備 1億3,440万円

自治会より要望のあった市道舗装修繕・改良、通学路安全対策、河川改良など

●JR守山駅西口渋滞対策社会実験 750万円

ロータリー内の横断歩道撤去による、渋滞対策の効果や安全性等を検証するための社会実験の実施

●市立幼稚園給食提供に向けた準備 2,600万円

令和7年4月から市立幼稚園全園で給食提供を開始するための食器等の購入

可決

守山市都市公園条例の一部を改正する条例案

市民スポーツ広場、市民運動公園ソフトボール場の照明の使用時間、利用料金を改正するもの

【市民スポーツ広場】

改正後

区 分	夜間照明施設を使用しない場合 午前6時から午後6時まで 1コーナーにつき	夜間照明施設を使用する場合 午後5時から午後9時まで 1コーナーにつき	
		3時間以内の利用の場合	4時間の利用の場合
土・日曜日、休日	1時間につき190円	3,300円	4,400円
その他の日	1時間につき140円	2,200円	2,940円

【市民運動公園ソフトボール場】

改正後

区 分	午前6時から午後9時まで1時間につき	
	夜間照明施設を使用しない場合	夜間照明施設を使用する場合
土・日曜日、休日	490円	1,870円
その他の日	340円	1,240円

施行期日：令和6年11月1日

総務常任委員会

議員からの
意見

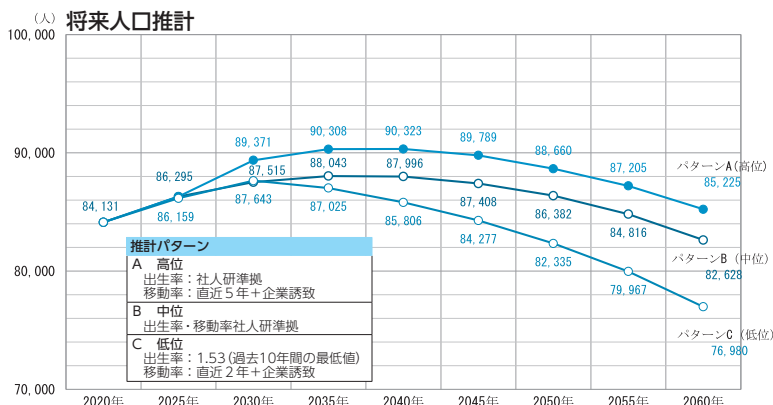
・適切な雨水排水対策を。

野洲川歴史公園サッカー場駐車場整備工事費の補正 予算額 6,350万円

委員会協議会

守山市長期ビジョン2035について

「守山市長期ビジョン2035」の策定にあたって基礎的な資料となる2060年までの将来人口推計が示されました。また、本市の住みやすさや魅力、まちづくりの取組み、将来のまちづくりについて15歳以上の市民2,000人(回答数587人)と市立4中学校1年生にアンケートを実施した結果説明を受け、議論しました。



《市民アンケート》

今後力を入れてほしい施策

	今回調査	前回調査
1位	医療サービス	医療
2位	高齢者福祉	学校教育
3位	子ども・子育て環境	交通安全・防犯
4位	地域公共交通	保険・年金
5位	学校教育	高齢者福祉

中学校1年生アンケート

守山市長になったら、どのようなまちにしていきたいか

- 安全・安心なまち 126件
- 自然・地球環境を大切にしたいまち 86件
- 福祉を大切にしたいまち 67件
- にぎわいのあるまち 64件

※複数回答

環境生活都市経済常任委員会

守山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案

適正な都市機能と健全な都市環境を確保するため、笠原産業用地地区計画を策定し、地区整備計画を定めることに伴い、建築物の用途の制限・容積率の最高限度・建ぺい率の最高限度・敷地面積の最低限度、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度を定める。

施行期日：令和6年10月1日

議員からの
意見

・条例に基づいた具体的な建築計画について、市民への丁寧な説明が必要である。

中学校体育館空調設備整備事業費の補正

予算額 990万円

中学校の体育館は、通常の授業や部活動だけでなく、避難所としても活用することを踏まえ、熱中症対策等として空調設備を設置するための設計費用。本年度に設計を行い、令和8年度の供用開始を目指す。

委員会協議会

終戦80年平和祈念碑の設置について

平和祈念碑建立の趣意書の内容、平和祈念碑の名称など、終戦80年平和祈念碑検討委員会での検討内容、設置後の管理方法についての説明を受け、議論しました。

新・地域子育て支援拠点について

令和7年11月にオープン予定の平和堂守山店(2階テナント)に整備する子育て支援拠点施設の事業概要の説明を受け、協議しました。

●整備コンセプト(テーマ)

気軽に立ち寄り『交流・相談・息抜き・学べる』子育て広場

●施設の機能(主なもの)

【遊びの広場】

- 子どもの発育に応じた遊具環境の中で親子が安心して遊べる広場
- 子育て中の親子が交流できる広場

【多目的室・多目的スペース】

- 子育てサークル・団体の活動(貸館)
- 子育てイベントや講習会等の開催
- 親子、保護者の休憩、小学生の憩いの場 ほか

【子育て相談・子育てコンシェルジュ】

- 子育てに関する相談や子育て支援サービスの案内役の配置
- 市の子育て支援事業の実施 ほか

【一時預かり】

- 保育所等を利用していない家庭において、保育が必要な場合に、1時間単位での保育の実施



●運用案

【対象者】原則、市内在住・通勤の未就学児の親子、子育てサークル等団体、小学生

【開設時間】平和堂守山店オープン時間から午後5時まで

【休館日】水曜日、祝日の翌日、年末年始、その他臨時休館

議員からの
意見

・利用者等の意見を運営に反映させていくことが必要である。



特別委員会報告

子育て支援対策特別委員会

待機児童対策(園整備等)について

令和7年度に見込まれる待機児童は、以下の受け皿確保対策によりおおむね解消できる見込みであり、本市が掲げる令和9年度の待機児童ゼロに向け取り組んでいくとの説明を受け、議論しました。

令和7年度待機児童見込み数……43人

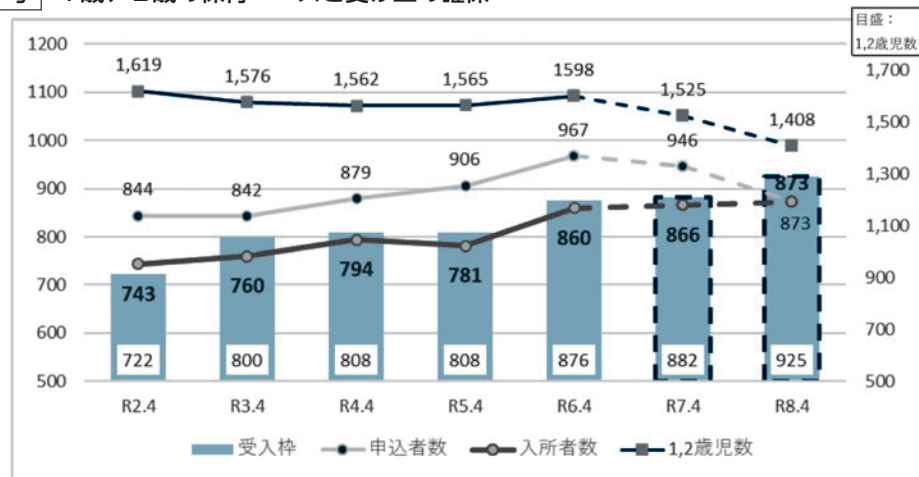
令和7年度の確保策

- ・事業所内保育所の定員拡充
- ・保育士確保による入所者数の増
- ・小規模保育所整備(令和7年7月開所)

令和8年度の確保策

- ・4月に新規民間保育所の開設

参考 1歳、2歳の保育ニーズと受け皿の確保



※推計値等含む

土曜日保育の集約化について

保育士の負担軽減や平日の教育・保育内容の充実を図るため、土曜日保育実施園を令和7年度から2か所に集約することの説明を受けました。

南部：守山保育園・守山幼稚園・浮気保育園 ⇒ 守山保育園

北部：小津こども園・玉津こども園・中洲こども園 ⇒ 玉津こども園

集約した場合の1日あたりの登園者数(令和6年度実績より)

	守山保育園	守山幼稚園	浮気保育園	小津こども園	玉津こども園	中洲こども園
	月合計		1日あたり	月合計		1日あたり
4月	24人		約6人	44人		約11人
5月	21人		約7人	30人		約10人
6月	30人		約6人	51人		約10人
7月	18人		約5人	41人		約10人

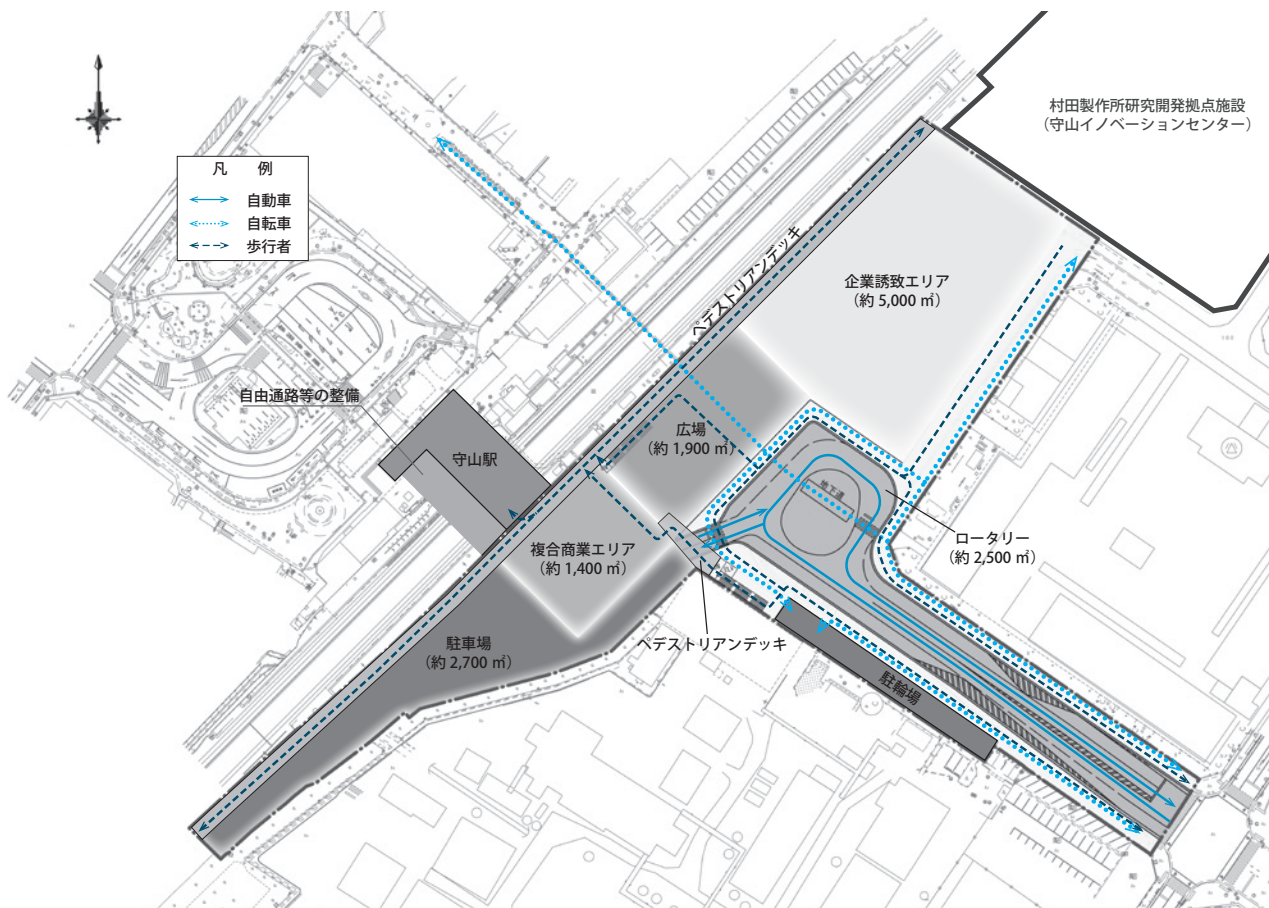
議員からの
意見

- ・土曜日保育の集約化により、保護者や子どもの負担が重くなりすぎないように。
- ・土曜日保育の集約化は働き方改革につながる。

まちづくり対策特別委員会

JR守山駅東口あり方検討について、土地利用ゾーニング・アクセス動線の検討状況の説明を受け議論しました。

【最も優位性が高いと考えられるゾーニング案：広場中心案】



※本図は導入機能の配置等を大枠で示すものであり、整備範囲や内容は変更の可能性がある

特徴

- ・広場を東口エリアの中心に配置し、その両側に複合商業機能(複合商業エリア)とワークプレイス機能(企業誘致エリア)を配置する。
- ・ロータリーは4車線道路を活用することで、現状よりもコンパクトな形状とする。
- ・一方通行道路は廃止し、歩行空間として活用する。
- ・駐車場の入口部分については、ペDESTリアンデッキ(高架型歩道)を設置し、歩行者と自動車の動線を階層的に分離する。

議員からの意見

- ・企業誘致エリアの東側の道路は渋滞対策や緊急車両等の進入路として車両通行を可能とするべき。
- ・全体の総事業費で市の負担額が大きくなるように。
- ・利用しやすいロータリーの整備を。

本案以外に「ロータリー中心案」「複合商業エリア中心案」の提示がありました。

議会改革・広報広聴特別委員会

オンライン委員会の開催について

災害や感染症によるパンデミックの際に、議会の機能が喪失することのないように準備を進めます。また、出産・育児・介護等やむを得ない状況の中でも議員としての責務を果たしうる方法として極めて有効です。

濫用を防ぐための規定の整理、条例改正などの課題があることから試行を行い、課題を整理し、運用開始に向けて取り組みます。

委員会の映像配信について

委員会も本会議のようにライブ配信をできないか検討しました。配信用機器等の課題を整理し、実現に向けて取り組みます。

行政視察報告書について

視察報告書は委員会の代表者が作成していましたが、今後は、全員が報告書を作成します。報告書様式の策定、公開の方法などについて議論しました。

議員個々の審議結果の市議会ホームページ上での公表について

議決結果については、市議会だよりに掲載していますが、今後、ホームページにも掲載します。

議会がもっと身近であるため、市民の皆さまの声が議会に届き、改善や変化を実感していただけるよう、今後も議会機能強化のための努力を重ねます。



視察報告

子育て支援対策特別委員会 7月9日～10日

静岡県
長泉町

・子育て支援施策について
現地視察「こども交流センター
「パルながいずみ」

長泉町は、都心からのアクセスが良く、企業誘致に早くから取り組み、財政力指数や人口増加率は静岡県内1位である。子育て支援策としては、他市町に先駆けた18歳までの医療費の無償化、子育て世帯への「こども商品券」の支給や定住のための支援事業などを実施、さらに、待機児童ゼロを達成されている。また、「パルながいずみ」は、木製の遊具などが設置され、大変賑わいのある施設であった。本市の新たな「地域子育て支援拠点施設」整備の参考としたい。



愛知県
豊橋市

・子育て支援施策に関する
取組みについて
・こども若者総合支援センター
「ココエール」の運営について

豊橋市は、地域全体で子育てを応援する仕組みが構築されている。家事代行サービス(1歳までの子がいる家庭が対象・1回500円)により、家庭では子どもに向き合う時間が増え、子どもが1歳を過ぎても引き続き家事代行(全額自己負担)が活用されることで、事業者にもメリットがある。

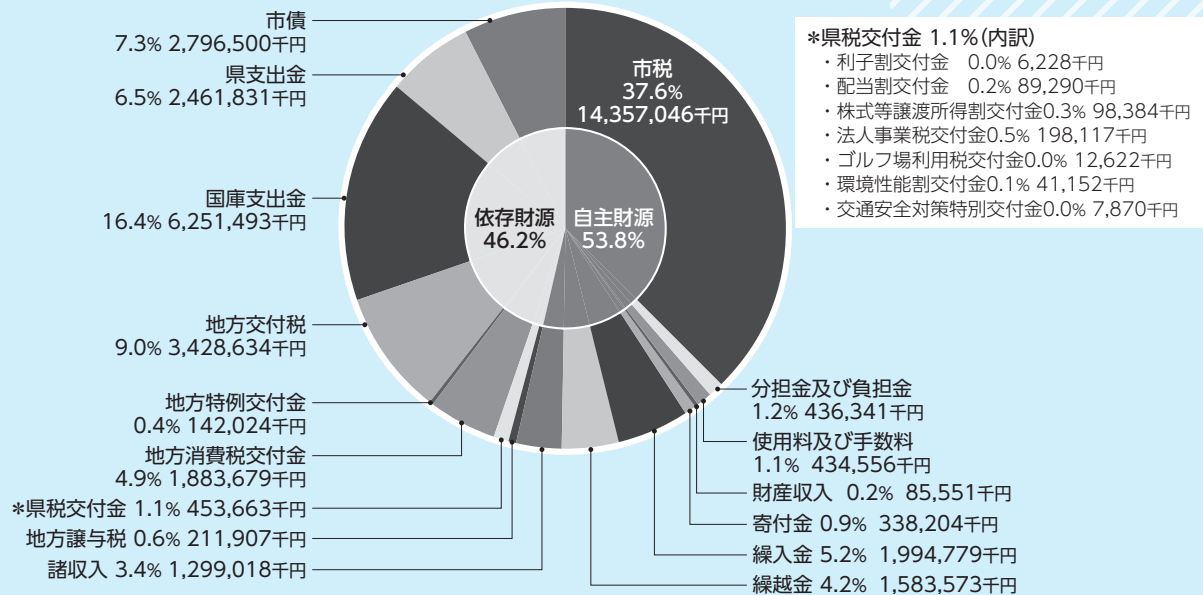
「こども若者総合支援センター」では、妊産婦・子育て世帯・子どもから若者まで(39歳まで)切れ目のない相談体制が整っていた。本市の子育てしやすいまちづくりの参考としたい。



決算特別委員会

令和5年度の主要な事業について各部局から説明があり、委員は事業の成果、予算が適正かつ正確に使われたかどうかの質疑や意見を述べ、一般会計、特別会計等の決算を認定しました。

一般会計 〈歳入〉 総額 38,158,799千円

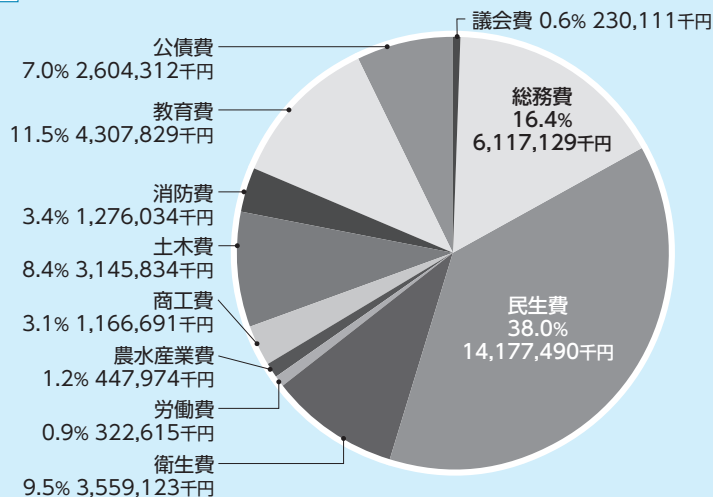


前年度と比較すると、**約34億円の減**となりました。

市税、株式等譲渡所得割交付金、分担金および負担金、県支出金、寄付金、繰入金、繰越金、諸収入などが増加しました。要因は、納税義務者数の増加等による個人市民税の増加、大規模な工場建築の増加等による固定資産税の増加、また、新庁舎整備や立入公園整備等への基金繰入の増加によるものです。

一方、法人事業税交付金、地方交付税、国庫支出金、財産収入、市債などが減少しました。主な要因は、新庁舎整備事業や臨時財政対策債等の市債発行の減少、前年度のJR守山駅東口市有地の売却収入約36億円の財産収入の減少によるものです。

一般会計 〈歳出〉 総額 37,355,142千円



前年度と比較すると**約26億円の減**となりました。

目的別支出の増減と主な要因は次の通りです。

- 総務費 減少** 新庁舎整備事業の減や前年度のJR守山駅東口市有地の売却収入を基金に積み立てたことによる減少
- 民生費 増加** 障害福祉や保育園等の利用者数の増加、待機児童対策の取組みによる増加
- 労働費 増加** 守山野洲市民交流プラザ移転関連事業による増加
- 商工費 増加** 旧都賀山荘跡地の土砂除去工事による増加
- 土木費 増加** 立入公園整備、道路・河川の整備による増加
- 消防費 増加** 北消防署出張所建替整備事業による増加
- 教育費 増加** 北部図書館機能・コミュニティ機能整備、河西小学校体育館長寿命化改修事業による増加

総合政策部

- ・ふるさと納税以外にも、シティープロモーションの取組みを推進すべきである。
- ・行政手続きのオンライン化により、取り残される市民がいないように、一層丁寧なデジタルデバイス対策が必要である。

総務部

- ・不適切な事務処理、事務ミスの防止ために再発防止策の策定や風通しの良い職場づくりが必須である。

環境生活部

- ・パブリックコメントなど市民からの意見をどう市政に反映したかが見えにくい。市政に反映できる意見聴取が望まれている。
- ・安全安心メールを災害時の情報伝達手段として活用できるように登録者数を増やすための積極的な働きかけをすべきである。

健康福祉部

- ・口腔ケアのために、学校園でブラッシング指導などを積極的に実施すべきである。

- ・ひとり暮らしや低所得の高齢者に対する配食サービス、緊急通報システム設置事業等を積極的に広報すべきである。

こども家庭部

- ・引き続き積極的な保育士確保策の実施を望む。
- ・発達支援計画の個別支援計画が十分に活用されるような理念の共有を進める必要がある。

建設部

- ・県道の通学路安全対策の早期対応を望む。

都市経済部

- ・立地適正化計画や都市計画マスタープランに基づき、計画的な都市づくりを推進すべきである。
- ・企業誘致や起業支援とともに、既存企業の支援が重要である。

教育委員会事務局

- ・虐待・不登校・いじめ対策など、こども家庭部との密な連携が必須である。
- ・AIドリルによる個別最適化の学びと「書く・読む・話し合う」のバランスが重要であり、より適切な活用がされるようにすべきである。

令和5年度決算を1ヶ月の世帯収入の家計に例えると



(単位：千円)

【家庭の場合】

(単位：円)

		R5	R4
歳入	市税	14,357,046	14,072,891
	地方交付税等	6,119,907	6,219,085
	国県支出金	8,713,324	8,666,118
	市債	2,796,500	4,704,800
	繰入金	1,994,779	947,752
	繰越金	1,583,573	1,027,464
	その他収入	2,593,670	5,943,098
	計	38,158,799	41,581,208
歳出	人件費	5,586,771	5,369,716
	扶助費	9,401,221	8,734,011
	公債費	2,580,958	2,519,012
	物件費その他	6,009,308	5,511,309
	補助費等	3,946,365	3,813,094
	繰出金、その他	2,431,793	2,255,822
	積立金	347,166	4,375,876
	投資的経費	7,051,560	7,418,795
	計	37,355,142	39,997,635
	繰越金	803,657	1,583,573

		R5	R4
収入	給料	188,000	169,000
	仕送り	194,000	179,000
	借金	37,000	57,000
	貯金取崩し	26,000	11,000
	前月節約を頑張った金額	21,000	12,000
	給料以外の収入	34,000	72,000
	計	500,000	500,000
支出	食費	73,000	65,000
	家族の医療費、保険料	123,000	105,000
	住宅ローン	34,000	30,000
	光熱費、日用品等雑貨	79,000	66,000
	習い事、税金等	52,000	46,000
	子どもへの仕送り	32,000	27,000
	貯金	4,000	53,000
	家のリフォーム、増改築	92,000	89,000
	計	489,000	481,000
	翌月へのへそくり	11,000	19,000

特別会計

(単位：千円)

	歳入額	前年度比	歳出額	前年度比
国民健康保険特別会計	6,739,167	101.7%	6,717,693	101.8%
土地取得特別会計	70,776	96.5%	65,809	96.4%
育英奨学事業特別会計	19,830	67.8%	17,520	65.0%
介護保険特別会計	5,824,429	104.6%	5,749,587	105.1%
(保険事業・サービス事業勘定)	36,293	101.3%	36,293	101.3%
後期高齢者医療事業特別会計	1,071,694	107.6%	1,069,153	107.5%
合 計	13,762,189	103.3%	13,656,055	103.5%

令和6年 守山市議会
9月定例会 質疑・質問一覧

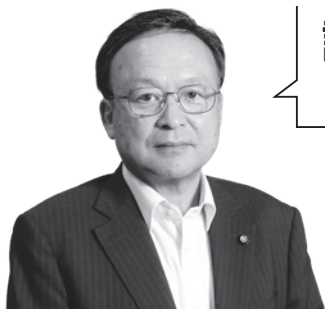
市政を問う

令和6年
9月17日～18日

個人質問

個人質問の順番は、発言通告書が提出された順番です。【 】内は、答弁者です。

質問順番 (掲載頁)	質問者	質問事項
1 (P12)	新野 富美夫 【総括方式】	1 「認知症高齢者の対策の充実」について【健康福祉部理事】
2 (P12)	田中 均 【分割方式】	1 子ども子育て支援の新たな取組について【子ども家庭部長】 2 農業支援対策について【都市経済部長】 3 認知症の人に寄り添う地域社会構築について【健康福祉部理事】
3 (P13)	田中 尚仁 【総括方式】	1 環境学習都市宣言記念公園スポーツ施設の整備について【建設部長】
4 (P13)	筈井 昌彦 【一問一答方式】	1 守山市のふるさと納税について【市長】
5 (P14)	榎本 花菜恵 【一問一答方式】	1 守山市役所の求人について【総務部長】 2 専門職、資格を有する方の採用について【総務部長】 3 障害者雇用について【総務部長】 4 市役所で働き続けてもらうためのサポートについて【総務部長】
6 (P14)	川本 佳子 【一問一答方式】	1 学校給食費の無償化について【教育長】 2 加齢に伴う難聴者の補聴器助成について【市長】 3 現行の健康保険証が12月2日で発行されなくなることにについて【健康福祉部長】
7 (P15)	小牧 一美 【一問一答方式】	1 子育て支援施策の充実について【子ども家庭部長】 2 守山駅東口再整備計画について【市長】 3 笠原工業団地造成と、リチウムイオン電池製造過程について【都市経済部理事】 4 守山市の平和事業について【市長】
8 (P15)	藤原 浩美 【一問一答方式】	1 安全安心な子どもの生活の場としての児童クラブについて【子ども家庭部長】 2 誰もが安心して移動できる公共交通のあり方について【都市経済部長】 3 包括的性教育について【子ども家庭部長・教育長】
9 (P16)	今江 恒夫 【総括方式】	1 高齢者の方が安心して住み慣れた地域・在宅で暮らせる為の施策の推進について【健康福祉部理事】 2 外国人技能実習生・特定技能労働者等に対する就労環境の整備について【都市経済部長】
10 (P16)	松永 恵美子 【分割方式】	1 地域交通の拡充について【都市経済部長】 2 通所介護事業所等の送迎業務の負担軽減と共同送迎について【健康福祉部理事】
11 (P17)	上田 佐和 【分割方式】	1 子育て支援の充実について【市長・子ども家庭部長】 2 秋から定期接種に移行する新型コロナワクチン接種について【健康福祉部長】
12 (P17)	川本 航平 【一問一答方式】	1 教育行政大綱で示されたSTEAM教育の展開について【市長・教育長】
13 (P18)	北野 裕也 【一問一答方式】	1 令和6年10月より開始の新型コロナワクチン定期接種の新型mRNAワクチン等について【健康福祉部長】



守政会
新野 富美夫(しんの ふみお)

認知症予防対策として 高齢者の補聴器購入助成を



問 本市では、2025年に認知症高齢者が約2,900人になると推計されている。難聴の高齢者は、人との会話がうまくつながらなくなること、閉じこもりがちになってしまい、社会とのかかわりが少なくなる危険性があることで、認知症になるリスクも高まる。また、内閣府が策定した「孤独・孤立対策に関する施策の推進を図るための重点計画」には、難聴者

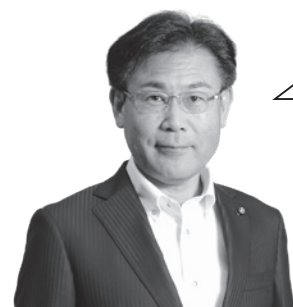
のための補聴器等の利用による社会参加の推進が盛り込まれている。人生100年時代を見据え、高齢者が元気に活躍し続けられる社会の実現のため、難聴対策は重要である。高齢者補聴器購入助成を検討する必要があると思うがいかがか。

答 高齢期の難聴はゆっくり進行していくため、本人は早期の症状に気づかず、家族や友人に指摘されてようやく気づくということもあり、本人も「聞こえにくい」と感じて「年だから仕方がない」と放置する高齢者も多いと認識しています。聞こえづらいまま放置しておくと認知症につながる恐れがあるとする調査結果もあ

ります。また、補聴器を使用したいが高額であるため購入できないなどの声も伺っています。「第9期高齢者福祉計画・介護保険事業計画」において、認知症対策の充実を重点的な取組としており、補聴器購入に対しての費用助成について、制度の設計を検討します。

問 具体的にどのような制度設計を考えているのか。

答 先行する他市での課題や対象者の要件、助成金額等を整理する中、制度設計を行い、実施時期も含め検討します。



公明党
田中 均(たなか ひとし)

子ども子育てに新たな支援策が必要では



問 子育ての更なる支援策として、1歳児未満の子どもがいる世帯向けに「家事代行サービス」を開始できないか。

答 当市では産後うつを防止などを目的に、1歳児未満の乳児と母親を対象に産科や助産院などで専門家が母子のケアを行う産後ケア事業を実施しています。申請者の中には、育児と家事で疲弊しているものの周囲から支援が

得られず、休養が必要と認められる例が多くあります。また、新生児訪問や乳幼児検診などでも「家事と育児の両立が大変」などの悩みを伺っています。このようなご家庭の家事負担を軽減し、育児に向き合う時間の確保、ひいては親子の愛着形成の一助となるよう、家事支援サービスの導入について前向きに検討します。

問 家庭児童相談での児童虐待相談が半数を超えている。児童虐待を減らすためのサポート支援について、現状と今後の対応を伺う。

答 子育て応援室に虐待対応専門員を配置するほか、児童

相談所、警察署、民生委員・児童委員、学校園をはじめとした関係機関や庁内関係課などが参画する要保護児童対策協議会が緊密に連携し、支援を行っています。本年4月にはこども家庭センターを設置し、連携保健師2名を新たに配置し支援体制の充実を図りました。

ネウボラ面接や妊娠8か月アンケート、新生児訪問、乳幼児健診など、全ての家庭を対象とした事業を行う中で、支援を要する子どもを早期に把握し、必要に応じてサポートプランの作成を通して、課題解決に向かえるよう、これまで以上に保健と福祉が連携した適切な支援を行います。



多くの人に利用される スケートボード場を目指して

問 環境学習都市宣言記念公園は、環境施設建設に関する付帯施設として、グランドゴルフ場やバラ園などを整備し、今後はスケートボード場が整備される計画である。オリンピックでの日本人選手の活躍もあり、スケートボードの人気の高まっている中で、愛好者には待望の施設だと思う。せっかく整備するのであれば、初心者から競技者まで幅広い層の人々に利用してもらえる施設にし、多くの人に積極的に活用してもらうことが重要だと考える。

整備予定のスケートボード場は、安全面などを考慮して、地面をコンクリート舗装でフラットに仕上

げると聞いているが、多くの人が「行きたい」と思う施設にするには、平坦な場所だけでなく、例えば起伏がある場所を作る、さまざまな設備を設置するなど、ひと工夫が必要だと思うが考えを伺う。

答 オリンピックの効果もあり、特に若年層には、ボード1つで気軽に始められるスポーツとして、さらには見た目のファッション性も相まって、愛好者や競技人口が今後さらに増えると考えています。

ご指摘を真摯に受け止め、移動可能な起伏のある台やレール状のパイプ等「セクション」と言われる障害物を複数設置することで、初



守政会
田中 尚仁 (たなか ひさと)

心者から難易度のある「トリック」に挑戦したい方まで幅広い層の方々に「行ってみたい」「使ってみよう」と思ってもらえる施設を整備します。



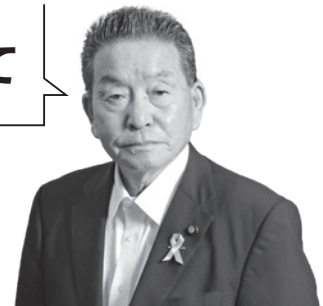
守山市のふるさと納税について

問 平成20年度に始まったふるさと納税利用者が1,000万人を超え、寄附額も1兆円を超えて最高額を更新している。また平成28年度にスタートした企業版ふるさと納税は、個人向けのふるさと納税とは異なり返礼品はないが企業にはイメージの向上や自治体との関係構築が期待できることから地方創生に取り組むための貴重な財源となっている。制度、本市の取組状況について伺う。

答 ふるさと納税制度は返礼品をもらうことが主目的の、逆進性の強い制度となっている事実は否定できないと考えており、本来の趣旨に沿った制度となるよ

う総務省に求めています。

本市では現在、返礼品は395品数を揃えるなか、寄附にあたり自ら用途を選択できることから、子育て支援をはじめ、さまざまなまちづくりに協力いただいています。毎年市民税の控除額が寄附額を大幅に上回る状況が続いていますが、減収となる市民税の控除額の75%は、普通地方交付税算定において基準財政収入額に算入されることから、現状は実質的な赤字には至っていません。また、企業版ふるさと納税としてこれまで延べ9社から計1,060万円の寄附を受け、農業振興、保育士確保策など地方創生事業の取組に応援いただい



守政会
筈井 昌彦 (はずい まさひこ)

おり、本年度はアドバイザーを活用して企業への働きかけ、寄附活用事業のPRなど多くの企業から応援をいただけるよう努めます。

問 ふるさと納税は多くの人に守山市を知ってもらう良い機会である。今後の取組方針について伺う。

答 近江牛に次ぐ、第2の柱となる返礼品の発掘など、ルールを遵守するなか取組を進めます。



ネットワーク未来
榎本 花菜恵 (ますもと かなえ)

「働くなら守山市役所」と言えるために



問 令和6年度の守山市職員採用試験の受験案内には、上級行政職の受験枠として新卒枠と一般枠があるが、新卒枠には年齢要件がある。年齢要件を設けることは、多様な背景を持つ方の雇用機会を損ねることとならないか。

答 これからの守山市を作っていく若い力を求めて新卒枠では年齢要件を定めていますが、応募の妨げになっているのであれ

ば見直しも必要だと考えます。

問 専門資格や専門技術を有する方は計画通りに採用されているか。また、人材確保のために取り組んでいることはあるか。

答 今年度は、幼児教育職や保健師職は募集人数通りの採用ができましたが、上級土木職などの技術系の職種では過去数年間、募集人数の確保ができていません。人材確保のために、守山市の魅力の発信、インターンシップ、応募要件の緩和などに取り組んでいます。

問 守山市の障害者の法定雇用率は国の定める基準に達していない。積極的に障害のある方

の雇用、特に正規職員としての採用募集の実施をすべきではないか。

答 積極的な障害者雇用に努めます。従来は勤務日数や勤務時間の柔軟性を重視し会計年度任用職員としての採用を行ってききましたが、正規職員の採用も検討します。

問 誰もが働きやすい職場であるために、働き方改革を進めるべきではないか。

答 テレワークや時短勤務制度などのさまざまな制度を活用し、個々の事情・状況に合わせて働き方を実現してもらいたいと考えています。



日本共産党議員団
川本 佳子 (かわもと よしこ)

学校給食費の無償化、加齢性難聴者に補聴器助成を、現行保険証をなくすことは問題



学校給食費の無償化を

問 「子育てするなら守山!」と掲げるなら、子育て支援策として学校給食費無償化に踏み切るべき。

答 要望が多いことは認識しています。優先順位の検討から、現時点では考えていません。本市において、仮に給食費無償化を実施した場合、年間で小学校では約3億円、中学校では約1.7億

円の予算が必要になります。

加齢性難聴者に補聴器助成を

問 加齢性難聴者に対する補聴器購入の助成制度を。特定健診項目に聴覚検査を追加しては。

答 先行して補助制度を設けている県内他市に照会等を行い、これを踏まえて、現在庁内で検討をしています。特定健診の目的とは異なるので、現時点で聴覚検査導入の予定はありません。

現行保険証をなくすことは問題

問 マイナンバーカードは任意。促進のために、マイナ保険証に強引に移行しようとしている点が問題である。保険証の発行は、国と保険者の責任。従来の保険証

を廃止することは既に決まったが、マイナ保険証に切り替えなければならないというものではない。現在は、きちんと国保税を納めれば、期限が切れる前に保険証が届いている。今後も国保税を納めれば「資格確認書」も届くのか。

答 市の責務として、法に定める「国民健康保険事業を適切に実施する」ことには変わりはありません。当分の間「資格確認書」を市が職権で交付できるとされており、当該期間終了後の取り扱いについて現時点でお答えできません。



駅東口の景観と混雑を 激変させる計画は凍結を

問 駅東口の村田製作所の横に、グランドメゾンと同じ高さの企業誘致を計画されようとしている。交通渋滞、駅前空間を狭めるような「にぎわい」は望まれている。

答 周辺住民の皆さんの声を聞きながら、本市の将来を見据えて駅前のあり方を検討しています。機を逸することなく進めます。

問 いつでも自由に遊べる「地域子育て支援センター」を、せめて各中学校区に1か所整備すべき。公立幼稚園各園に養護教諭を配置するべき。

答 建て替え後の平和堂守山店に「地域子育て支援拠点」を

整備します。また、北部地域に設置を想定しています。公立幼稚園に専門職を配置する必要があると考えています。

問 GSユアサは1日5,000tの水を使うとのこと。どのように使われるのか。法竜川治水対策をしっかりと示すべき。横江地区での住民への説明はどのようにされたのか。

答 空調と製品の原材料に水を使うとのこと。法竜川は、県が治水対策を施工するよう協議しています。横江地区の防火安全対策は消防協議中です。弥生の里自治会には企業から説明は済ませています。



日本共産党議員団
小牧 一美 (こまき かずみ)

問 「平和祈念碑」への氏名の刻銘については、広く市民との議論が必要ではなかったか。平和の取り組みについて、より市民へ広報されるとよいのでは。

答 平和祈念碑は、平和の大切さを今一度市民に啓発し、恒久平和の祈念と戦没者等への追悼の意を表するため、設置するもので、検討委員会を設置し、委員の皆様からさまざまなご意見をいただきました。



安全安心な子どもの生活の場としての 児童クラブの充実を

問 夏期休業中の児童クラブは、猛暑で活動が大きく制限されており、更なる支援が必要。中洲児童クラブは、就学前の子どもが増え、空き教室では今後は対応できないため専用施設を整備すべき。河西学区に新設される児童クラブは、交通安全確保が心配。児童クラブは学校に隣接した場所に設置すべき。

答 熱中症事故防止のため各運営事業者が尽力されています。市は今年度から委託料を増額し、安定的な運営を支援をしています。中洲児童クラブの専用施設整備は現時点では考えていません。河西学区の児童クラブは、支援員

による送迎などにより安全確保に努めます。学校隣接地への設置は難しく、通学路付近への設置が必要と考えています。

問 公共交通利用に地域格差が生じている。市民誰もが利用できる「モーリーカー」の運行、タクシー運賃補助制度、地域で利用される医療・商業施設を循環するバスの運行をはいかがでしょうか。

答 「モーリーカー」の特定目的地に近隣市の商業施設を追加するほか、妊婦や乳幼児を連れた人の利用で中学生までの同伴を可能とする制度の改善を予定しており、公共交通の充実に努めます。



日本共産党議員団
藤原 浩美 (ふじわら ひろみ)

問 乳幼児期からの包括的性教育の学びの機会を計画的に設けるべき。外部講師との連携で市内の園や子育て関連施設、学校教育を通じて、包括的性教育に関わる講義や研修を実施すべき。

答 まずは、乳幼児期健診等の場面で包括的性教育に関する情報の提供を行います。現在、学校では柔軟に外部講師と連携した学習を実施しています。



無所属

今江 恒夫(いまえ つねお)

高齢者が安心して住み慣れた地域・在宅で暮らせるための施策の推進を



問 介護人材の不足が叫ばれている。厚生労働省は2025年には233万人、2040年には280万人の介護人材が必要と見込んでおり、市内の事業所の方からも、現場で働く介護職員、看護職員、介護支援専門員が足りないと聞き及んでいる。高齢者が安心して住み慣れた地域・在宅で暮らせるための施策の更なる推進にあたって、課題認識および介護職員就職支援

事業の現状を伺う。

答 今後も高齢化は進行し、ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加が見込まれており在宅介護・療養ニーズの高まり等への対応が課題であると認識しています。このことから、看護小規模多機能型居宅介護施設の整備を進めます。介護職員就職支援事業のひとつとして「介護職員就職支援事業補助金」を創設し、介護現場での人材の確保や定着を図っています。事業所への状況調査を行い、結果を踏まえ必要な対応策を検討します。

外国人技能実習生・特定技能労働者等に対する就労環境の整備について

問 本市には令和5年12月末現在で1,147人の外国籍の方が居住されている。建設現場、介護現場を始めとする労働現場では、技能実習生、特定技能、経済連携協定等における外国人材に頼らなくてはならない状況が今後ますます増えてくると考える。実態の把握と、環境整備が必要では。

答 外国人労働者は、市内事業所の労働を担っている重要なパートナーであり、関係機関等と連携し、外国人労働者の定着、再来訪に向けて研究します。



守政会

松永 恵美子(まつなが えみこ)

いきいきと自分らしく暮らしていくために移動手段の確保を



問 運転免許証返納者が増加する中、バスは減便せざるを得なくなり、移動手段を断たれた地域は不便な生活を強いられる。「もーりーカー」の利用状況と今後の移動手段の補填について伺う。

答 「もーりーカー」の利用者は毎年増加しています。令和7年4月に向けて「もーりーカー」の制度改善の取組を進め、特定目的地の商業施設の追加等も検討し

ています。既存の「草津・栗東・守山くるっとバス」や福祉有償運送、ボランティア輸送などをうまく活用し、バス停から離れた地域にお住まいの方の移動手段の確保に努めます。

問 厚生労働省の「令和6年度介護保険報酬改定に関するQ&A」には複数の通所系サービスによる共同送迎を可能とすることが明記されている。既に企業や地域と連携して共同送迎を行い、送迎業務の負担軽減やひとりで買い物に行けない方の買い物同行支援を行っている他市の事例もある。まずは、通所介護等の送迎業務の負担について現場の状況を把握し、

共同送迎による介護職員の負担軽減と地域の移動支援について検討してはどうか。

答 共同送迎については集団指導で資料を提供し周知を図りました。送迎は本来、運営事業所にて実施されるものであり共同送迎も事業所同士の連携により実施されるものですが、令和6年度の介護報酬改定にて共同送迎の取扱いが明確化されたことを踏まえ、市におきましても送迎にかかる事業所の現状把握のための調査を実施し、結果を踏まえて検討します。



ショートステイ事業の推進と ワクチンによる多くの健康被害の周知を



無所属

上田 佐和 (うへだ さわ)

子育て支援の充実について



ショートステイ事業の利用者の拡大が見込まれる中、新たな委託先の拡大は。



新たな委託先として、里親を考えており関係機関と協議を行なっています。



子育て施策の隙間を埋める手段としてホームスタート事業があるが、これから整備する子育て支援拠点の機能の一つとして取り入れることは可能か？



委託仕様書に入れることで応募事業者が限られてしまうことを危惧しています。自主事業として実施される団体があれば、ふるさと納税を活用した団体の支

援や市民型提案事業として支援するなどの可能性も考えられます。

秋から定期接種に移行する 新型コロナワクチンについて



新型コロナウイルス感染症予防接種健康被害審査会によると、9月6日時点で申請数11,905件の内、認定数8,049件の死亡一時金または葬祭料の申請は1,489件、累計死亡認定数799名。1月15日には初めて10代未満(6歳と9歳)の認定例が公表された。ワクチンの健康被害リスクの許容限度の何十倍のもリスクである。ワクチンのメリット、デメリットの両方を市のホームページなどで周知いただきたい。



市民の皆さまがワクチンのメリット、デメリットを理解した上で、接種の判断をしていただけるよう、市ホームページにメーカーの説明資料を掲載し、ワクチンの効果や副反応に関する情報のほか、健康被害救済制度の申請があった件数や国による健康被害の認定状況等についても分かりやすく情報提供します。



※STEAM教育を、どのように展開するか



無所属

川本 航平 (かわもと こうへい)

今年4月に守山市教育行政大綱 で示されたSTEAM教育の展開 について



理系分野に興味がない子どもや、勉強が苦手な子どもが参加しやすいものにするべき。



STEAM教育は理系分野に限定した学びではないと認識しています。また、企業などの協力により、勉強が苦手な子ども達も体験を通じて楽しく参加できるものと考えています。



学校現場の負担は小さくするようにすべき。たとえば沖縄県糸満市では、全市共通の授業プログラムを作成。全24コマの授業で何をするか、協力企業に

何をしてもらうか、教員の役割は何かが決めている。現場の教員にとっては、慣れない課題解決型学習についてイチから授業案や資料をつくる必要がなく、企業への依頼や説明の手間も少なくなる。守山市のSTEAM教育も、市全体として共通の授業プログラムを作成する形で実施できないか。



モデルとなるような授業プログラムを作成することは有効だと考えます。教員の意見も聞きながら、全体的な流れや内容を示せるように取り組みます。例えば、市内で共通して学習している琵琶湖学習や地域学習、キャリア学習において、既存のカリキュ

ラムを生かしながら、専門家の力をお借りし、民間企業との連携を図るなどしながら学びを充実させたいと考えています。

大切なのは、子ども達の興味と主体性



興味・関心に合わせて学べる形に



参政党
北野 裕也(きたの ひろや)

ワクチン接種リスクの広報を



問 新型コロナワクチン接種が始まって約3年で、予防接種健康被害救済制度の死亡認定者は全年齢で777名であり、約9年間のインフルエンザワクチンでの死亡認定者は4名である。新潟大学の岡田正彦名誉教授は「ワクチンを打った人のほうが、コロナに感染しやすいというデータがあることも分かってきた。」との見解がある。日本はなぜ、次世代型mRNA

型ワクチン(レプリコン・ワクチン)を先行して認可しているのか。予防接種法でワクチン定期接種の主体である市町村も説明責任を担う。市民から問われた場合『市は承知しておりません』と回答するのか。次世代型mRNAワクチン、コストype筋注用は、アメリカで開発され、ベトナムで治験されており、死亡者もいる。アメリカ、ベトナムでは、まだ承認されていない。なぜ、日本が世界初、そして唯一、次世代型mRNAワクチン(レプリコン・ワクチン)、コストype筋注用を承認、使用するのか。この状況は、少なくとも市民の皆さまがワクチンを接種される前に、

知るべき情報だと思う。本市も更に適切な、市民にわかりやすい、踏み込んだリスクの広報をすべき。

答

薬事承認は国が行うものであり、本市では承知していません。なお、国においても、明確な理由は示されていないと認識しています。

議会活動報告(7月~10月)

7月 8日	市議会だより編集委員会
8月 9日	議会改革・広報広聴特別委員会
8月27日	議会運営委員会
8月28日	子育て支援対策特別委員会
8月29日	まちづくり対策特別委員会
9月 2日	議会改革・広報広聴特別委員会
9月 4日	本会議(初日)
	市議会だより編集委員会
9月11日	議会運営委員会
9月17日	本会議(中日)

9月18日	本会議(中日)
9月19日	総務常任委員会
	市議会だより編集委員会
9月20日	文教福祉常任委員会
9月24日	環境生活都市経済常任委員会
9月25日	決算特別委員会
9月26日	決算特別委員会
10月 1日	議会運営委員会
	本会議(最終日)
	全員協議会

次回定例会会議等の開催予定

※開会時間は原則午前9時30分です。

11月21日(木)	議会運営委員会
11月22日(金)	子育て支援対策特別委員会
11月25日(月)	まちづくり対策特別委員会
11月26日(火)	議会改革・広報広聴特別委員会
11月29日(金)	本会議(初日)
12月11日(水)	本会議(中日)

12月12日(木)	本会議(中日)
12月13日(金)	総務常任委員会
12月16日(月)	文教福祉常任委員会
12月17日(火)	環境生活都市経済常任委員会
12月19日(木)	本会議(最終日)



9月定例月会議 審議結果一覧

全会一致で可決等された議案

決算 5	令和 5 年度守山市土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和 5 年度守山市育英奨学事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和 5 年度守山市水道事業会計決算の認定について
	令和 5 年度守山市下水道事業会計決算の認定について
	令和 5 年度守山市病院事業会計決算の認定について
予算 4	令和 6 年度守山市一般会計補正予算 (第 2 号)
	令和 6 年度守山市国民健康保険特別会計補正予算 (第 1 号)
	令和 6 年度守山市介護保険特別会計補正予算 (第 1 号)
	令和 6 年度守山市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第 1 号)
条例 2	守山市使用料および手数料条例の一部を改正する条例案
	守山市都市公園条例の一部を改正する条例案
人事 1	守山市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
諮問 3	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて
その他 1	契約の締結につき議決を求めることについて

賛否が分かれた議案

	会派	①										②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
		新野富美夫	菅井昌彦	渡邊邦男	森貴尉	松永恵美子	高田正司	西村弘樹	田中尚仁	小牧一美	藤原浩美	川本佳子	福井寿美子	榎本花菜恵	二上勝友	田中均	北野裕也	藤木航平	川本佐和	上田恒夫
令和 5 年度守山市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 5 年度守山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 5 年度守山市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和 5 年度守山市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市立保育園の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市国民健康保険条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
守山市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	○	○	○	○	○	○	—	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○
教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書	原案否決	×	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×
学校給食の無償化制度を求める意見書	原案否決	×	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×
政府の責任で米の安定供給を求める意見書	原案否決	×	×	×	×	×	×	—	×	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×

会派…①守政会 ②日本共産党議員団 ③ネットワーク未来 ④日本維新の会 ⑤公明党 ⑥参政党 ⑦～⑩無所属議員
○…賛成 ×…反対 —…議長は採決に加わっていません。

まの トピックス Topics



「私たちが守山の未来をつくる 中高生サミット」開催

10月5日に開催され、市内在住・在学の高中生が「自分たちが地域にできることは何か」を考え、それぞれが学んできたテーマについて、プレゼンテーションを行いました。中高生は緊張しながらも一生懸命に、自分たちの思いを伝え、議員と意見交換をしました。



市議会傍聴のご案内とインターネット中継 ((o))

次回定例会議の予定は18頁に掲載しています。
(日程は変更になる場合もあります)
お問い合わせは議会事務局へ。

TEL : 077-582-1151

守山市議会中継



守山市議会YouTube中継ページへ

インターネットアクセス数

4,373件

(令和6年7月1日～9月30日)

アプリで
見よう!

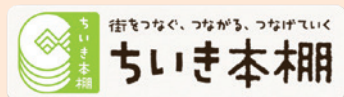
もりやま市議会だよりが**アプリ**で閲覧できます!

App Store

Google play



「マチイロ」アプリを
インストール



「Sidebooks」
アプリをインストールし、
「ちいき本棚」を選択

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとのご負担となります。

※アプリの閲覧中に広告が表示されますが、その内容に守山市議会は責任を負いません。

編集後記

今年も地震、台風、豪雨などにより各地に大きな被害がありました。本市におきましても、災害対策に関する一層の取り組みを進めるため、議論を深め、安全で安心なまちづくりを市民の皆さまと進めていきたいと考えます。

正副議長の改選により新体制がスタートし、市議会だより編集委員長を引き継ぐこととなりました。市民の皆さまに広く親しまれ、より多くの方に伝わる「もりやま市議会だより」を目指してまいります。

市議会だより編集委員長 今江 恒夫